

家庭教育力の強化を図ろう

～負担なく・無理なく・簡単に～

豊田市立飯野小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、豊田市の市街地から約 15 キロ北東にあり、東海環状自動車道が南北に、猿投グリーンロードが東西に通じている猿投山麓に位置する藤岡飯野町にあります。私たち飯野小学校は今年 7 月に創立 150 周年を迎え「真剣に勉強する子 仲よく助け合う子 最後までやり抜く子を鍛え丈夫な子」という教育目標のもと、あいさつができ、様々な活動に対し積極的に参加するこどもたちが育っています。

2 研究のねらい

近年 P T A 活動を取り巻く環境は厳しく、P T A 活動に対して否定的な意見や役員委員になりたくないという保護者が大半で、毎年役員決めでは揉める状況が続いる。このままでは P T A が崩壊しかねないと考え、全面的に活動の見直しを進めることを狙いとして進めることとした。

3 研究の仮説

負担になっているすべての問題を徹底的に見直すことで役員委員になりたくないという考えや P T A を負担と考えている保護者の考えを変えることが出来る。

4 研究の方法

現役員を含め役員経験者、保護者、地域の方々、近隣小中学校の校長先生、教頭先生、P T A 会長へのヒヤリングを含め、「～負担なく・無理なく・簡単に～」を活動の柱として、飯野小学校の活動が他校の参考になれるよう、すべての関係者を巻き込み進める。

5 研究の実践

(1) 問題点の洗い出し

ア P T A 全体の問題点

P T A は大変というイメージによる抵抗感が大きく、更には変更には多くの関係者との調整など多くの時間が必要という事から今までどおりが楽だという考えから放置されていた。役員、委員決めは抽選、活動も強制力の強い活動になっているため毎年役員決めの時期になるとどこからか不満が漏れ聞こえてくる現状です。本当に P T A は大変なのか、どんな活動をしているのか全保護者が知らない事が問題。

イ 活動及び役員、委員の問題点

飯野小学校 P T A は、役員 10 名、委員 17 名合計 27 名で構成され、年 6 回の役員会をはじめ、地区の充て職、全保護者対象の交通当番、年 2 回の広報誌の発行など年間を通して様々な活動を行っていますが、どの活動も以前と変化なく大変だったころのイメージだけが残った

ままになっていた。変えたいという思いはあるが、時間が無い、調整が大変などの理由により現状のままになっていた事が大きな問題だった。問題をそのままにして放置されていた。

(2) ～負担なく・無理なく・簡単に～

ア 役員の負担軽減

全てを見直すことを基本とし役員会を年2回に変更、マニュアルの整備、引継ぎの廃止、地区の充て職廃止など徹底的に見直しを実施。何度も役員、委員、地区委員、地域の方々と打合せを実施し、内容によっては要望書を提出した事例もあり変更には多くの時間と労力がかかった。また、飯野小学校だけ楽になっても良くないとの考えから各学校とも連携し、藤岡中学校ブロック4校全体の改善につながった。

イ 委員の負担軽減

委員の選出は各地区の選出基準により異なり、地区の役員、子ども会の役員、仕事が忙しいなど様々なやりたくない理由が上がっている。そこで思い切って地区委員を廃止し交通当番を任意制に変更。更には広報廃止による広報委員の廃止、PTA講演会の手配業務を兼務に変更し全委員を廃止した。結果17名の委員全てを廃止した。

ウ 藤岡中学校ブロックとの連携

今回の改善は飯野小学校単独では出来なかった活動で、特に小学校の会長を経験した人は中学校の役員を永久免除する事。中学校の会長を経験した人は、小学校の役員を永久免除する(4校連携)など、役員を経験することでのメリットを明確にした事と役員になったとしても負担がほとんどないように変更した。飯野小学校の動きが各小中学校まで波及し、今までは考えられない立候補者選出会になった。※4校とも多数の令和7年度の役員立候補者があった。

6 研究の考察

役員、委員の活動の洗い出し、徹底的に無駄な活動の排除、過去現在の役員との話し合い、学校側との調整、地区との調整、地域との調整を行い、各小中学校との調整や時には、報道でPTAを廃止した学校へ出向いての状況確認を行った。特に一番重要だったのは保護者説明会で、5日間にわたり丁寧に実施したこと(参加率98%)で保護者の理解が得られたと思っている。変えるという思いと変えてほしいという思いが合致したことで大きな成果につながり、更には藤岡中学校ブロック全体としても大きな効果になって表れたと考える。

7 成果と今後の課題

令和6年度、6名の役員に対して21名の立候補があり大きな成果を上げることができた。「やりたくない」から「やってもいいよ」に変わった瞬間だった。参考として、令和6年10月7日に行われた令和7年度新役員選出では昨年を上回る23名の立候補者があった。活動の見直しにより役員の負担が軽減でき活動しやすい環境に変更できたと思われる。今後は、家庭で子どもと一緒に考える時間が増える仕掛けづくりや、保護者ボランティアや地域の方々と連携した活動を進め、更に新しいPTA活動を目指して進めていく必要があると考える。